

電磁環境委員会 平成20年度 会員向け講演会について

1 講演会開催要旨

電磁環境委員会は、通信・放送分野におけるマイクロ波等高周波の人体への影響に関する懸念が顕在化したため、無線設備等の電磁環境問題について調査研究及び普及・啓発活動を行い、電波の利用促進に寄与することを目的として、1997年9月に設置されました。

最近では電波利用の拡大や多様化に伴って、電波の健康に及ぼす影響など電波の安全性についての関心が高まってきているのも事実です。本委員会は、このような状況を踏まえ、医学的・工学的な観点から社会的な不安を無くすように活発に活動しています。

本委員会では、委員会で行った研究成果、最新の研究動向及びWHOの最近動向などを会員及び関係者に紹介する目的で会員向け・関係者向けに講演会を実施しています。

本年度も委員会の委託研究テーマの成果及びWHOの動向、医学的な最近の研究動向などをテーマに講演会を開催します。本年度の会員向け講演会は、電磁環境に関する最近の動向について、医学的な分野から宇川教授に、工学的な分野から多氣教授よりご講演いただき、電磁環境委員会の研究成果について(株)三菱化学安全科学研究所の関島センター長よりご講演をいただきます。

会員の皆様のご参加をお待ちしております。

(1) 日時： 平成21年2月20日(金) 14:00～17:40

(1) 場所： 主婦会館 プラザエフ<<http://www.plaza-f.or.jp/>>  
クラルテ

(3) 主催： 社団法人電波産業会 電磁環境委員会

(4) 講演テーマ

「携帯電話電波の脳細胞に及ぼす影響についての研究」～最新の研究動向について～

株式会社三菱化学安全科学研究所 先端技術研究センター長

関島 勝氏

「携帯電話の人体に対する影響に関する研究～現状と今後～」  
福島県立医科大学 医学部 神経内科 教授

宇川 義一氏

「電波ばく露における最近の研究動向について」  
首都大学東京大学院 教授

多氣 昌生氏

- (5) 対象及び規模： 電波産業会会員、電磁環境委員会会員を対象に  
80名程度
- (6) 参加費： 無料
- (7) 申込み： 電磁環境委員会 事務局  
申込み方法についてはARIB Webサイト  
<<http://www.arib.or.jp>>のお知らせに掲載する予定  
です。

## 総務省からのお知らせ

### 電波の安全性に関する説明会を岐阜市内で開催 (平成21年1月14日総務省東海総合通信局報道発表)

総務省東海総合通信局（局長 井筒 郁夫(いづついくお)）は、社団法人電波産業会（会長 西田 厚聡）及び東海情報通信懇談会（会長 川口 文夫）との共催により、電波の安全性に関する説明会を岐阜市内で下記のとおり開催します。

昨今、暮らしの中において、携帯電話の普及など電波利用がより身近になっている中で、電波の安全性について疑問や不安を抱かれる方もいます。

本説明会では、電波の安全性について最新の研究成果及び国際動向なども含めて、それぞれの専門分野の方々から分かりやすく解説します。詳細については東海総合通信局のWebサイトを参照願います。<<http://www.tokai-bt.soumu.go.jp/tool/kohosiryu/hodo/20/01/0114-5.htm>>

#### 1 日時・場所

- (1) 日時 平成21年2月19日（木曜日）13時15分～16時50分
- (2) 場所 ウェルサンピア岐阜<[http://www.kjp.or.jp/hp\\_70/](http://www.kjp.or.jp/hp_70/)> 2階「金華」の間
- 住所 岐阜県岐阜市市橋2-1-22
- 電話 058-274-8300

#### 2 主催

- (1) 主催 総務省東海総合通信局、社団法人電波産業会、東海情報通信懇談会
- (2) 後援 岐阜県

#### 3 定員

100名（先着順）

#### 4 参加費

無料

#### 5 開催内容

(1) テーマ「安全で安心な電波環境に向けて」

(2) 演題・講師

演題1「安心して電波を利用するために」

講師：総務省 総合通信基盤局電波部電波環境課 課長 杉浦 誠

演題2「電波防護ガイドラインについて」

講師：名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授 藤原 修 氏

演題3「身の回りの電磁波と健康について」

講師：東京女子医科大学 衛生学公衆衛生学第2講座 教授 山口 直人 氏

#### 6 申込み方法

説明会に参加を希望される場合は、氏名及び連絡先（電話番号又はメールアドレス）を

記入の上、2月13日（金）までにFAX、郵送又は電子メールにてお申込み下さい。また、電話でもお申込みが可能です。（注意：参加証の発行は省略させていただきます。）

なお、定員になり次第、締め切らせていただきますが、その場合は下記のWebサイトでお知らせします。 <<http://www.tokai-bt.soumu.go.jp/>>

注：申込みの際にご提供いただいた情報は、説明会の参加登録にのみ使用し、説明会終了後廃棄いたします。

#### 7 申込み・問い合わせ先

総務省 東海総合通信局 電波監理部 電波利用環境課

〒461-8795 名古屋市東区白壁1-15-1 名古屋合同庁舎第三号館

TEL：052-971-9107 FAX：052-971-9396

E-mail：tokai-riyoukankyou@rbt.soumu.go.jp

【連絡先】

東海総合通信局 電波利用環境課

電話：052-971-9196

#### 電波行政の動き

「ICT先進事業国際展開プロジェクト」の提案募集  
(平成21年1月16日総務省報道発表)

総務省では、従前より力点を置いて取り組んでいるICT先進分野の国際展開活動を加速化するとともに、我が国の高度なICTインフラを活用した新規分野における国際展開を戦略的に進めるための総合的な施策を推進し、ICT産業の国際競争力強化やICTによる成長力強化を図る「ICT先進事業国際展開プロジェクト」を平成21年度から実施する予定です。

採用された表紙絵及びコラムは、情報通信白書に掲載するとともに、総務大臣賞をはじめとする表彰を行います。

今般、「ICT先進事業国際展開プロジェクト」の実施テーマに関する提案募集を行うこととし、平成21年3月6日（金）までの間、広く提案を募集します。

## 1 趣旨

総務省は、平成21年度より、「ICT先進事業国際展開プロジェクト」を実施することとしています。本プロジェクトは、ICT重点3分野（1）デジタル放送、2）次世代IPネットワーク、3）ワイヤレス）の国際展開活動を加速化するとともに、我が国の高度なICTインフラを活用した新規分野において、世界に先駆けて先進的な実証実験を実施し、技術的・制度的課題等を検証することにより、我が国のICT産業の国際競争力強化やICTによる成長力強化を図るものです。今般、「ICT先進事業国際展開プロジェクト」の実施テーマに関する提案を広く募集いたします。

なお、本プロジェクトは平成21年度予算案に盛り込まれているものですが、できる限り速やかな事業開始を可能とするため、予算成立前に実施テーマを募集するものです。

したがって、内容等に変更があり得ることをあらかじめご了承ください。

## 2 提案募集の対象

### (1) 応募資格

「ICT先進事業国際展開プロジェクト」の実施を具体的に計画又は想定している企業、独立行政法人、大学、地方公共団体又はそれらからなるコンソーシアム等とします。

### (2) 対象事業

次の3つの事業とします。

- 1) ICT重点3分野途上国向けモデル事業（ユビキタス・アライアンス・プロジェクト）
- 2) ICT先進実証実験事業
- 3) ICT利活用ルール整備促進事業（サイバー特区）

### (2) 実施期間

「ICT先進事業国際展開プロジェクト」は、平成21年度から実施し、平成22年度を実施期限としております。

## 3 今後の予定

総務省は、提出された提案を評価した上で、実施プロジェクトのテーマを決定します（評価に当たっては、必要に応じ、外部の有識者等の意見を聴

くことを想定しています。) 。平成21年度予算が成立した後に、各プロジェクトの実施主体を決めるための一般競争入札を行います。

詳細は<[http://www.soumu.go.jp/s-news/2009/090116\\_3.html](http://www.soumu.go.jp/s-news/2009/090116_3.html)>を参照願います。

## 編集後記

自宅で長年愛用しているノートパソコンから「カタ、カタ、カタ」という音が聞こえ始めて、待ち時間が長くなりました。

メーカーに点検に出すとハードディスクドライブの磨耗が原因だそうで、修理費用は約10万円とのことでした。

非常に微妙な価格設定で10万円ではパソコンは購入できないし、もう少し奮発すると新しいパソコンが購入できてしまうこともあり、結構悩みました。そこでパソコンをお釈迦にする事を覚悟で、自分で修理をすることに決めました。

秋葉原でハードディスクドライブを¥5,980で購入し、周囲の方々から貴重なご意見(技術情報)を頂き無事に交換が終了しました。

お金が出ない分、汗は出ましたが、右のドライブのプロパティの写真のように容量も20Gから160Gに大幅に増加され、費用も低価格で出来て非常に満足しております。

貴重なご意見を提供していただいた皆様ありがとうございました。(澤井利和)

